

# 令和6年第5回国分寺市農業委員会総会議事録

令和6年5月20日(月)午前9時30分

第5回国分寺市農業委員会総会を国分寺市役所書庫棟会議室に召集する。

出席委員 (14名)	1番 吉野 賢一	2番 関田 和雄	3番 鈴木 孝幸	4番 濱野 周泰
欠席委員 (1名)	5番 鈴木 秀男	6番 草ヶ谷 誠一	7番 須崎 忠男	8番 平野 孝行
	9番 鈴木 弘子	10番 笛田 弥生	11番 川窪 光一	12番 小柳 弘
	13番 中村 秀雄	14番 栗原 啓輔	15番 本多 佳郎	
事務局 出席職員	事務局長 飯塚 達儀 係長 榎本 紘幸 係 有田 元之			

## < 議事日程 >

日程第1 開会と署名委員指名

日程第2 前回会議録の承認

日程第3 会長等の報告

日程第4 議案審議

議案第1号 都市農地の貸借の円滑化に関する法律に係る事業計画について

議案第2号 相続税の納税猶予に関する適格者証明書の交付について

議案第3号 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書の交付について

日程第5 報告事項

報告第1号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出に係る専決処理について

報告第2号 第64回企業的農業経営顕彰事業について

報告第3号 第44回農業後継者顕彰事業について

報告第4号 令和5年度の最適化活動の目標及び目標に対する点検・評価について

報告第5号 今後の日程について

日程第6 その他

議長（鈴木秀男）は令和6年第5回国分寺市農業委員会総会の開会を宣言した。

### ○ 日程第1 開会と署名委員指名

議長は、議事録署名委員について、次の2名を指名した。

8番 平野 孝行

9番 鈴木 弘子

### ○ 日程第2 前回会議録の承認

事務局提示のとおり前回会議録は承認された。

○ 日程第3

会長等の報告

- 4月19日 認定農業者相談支援チーム会議・認定農業者認定書交付式（認定農業者相談支援チーム川窪リーダー）
- 4月25日 農業祭運営委員会（農業委員11名）  
都市農政推進協議会・営農対策推進協議会（鈴木会長、須崎会長職務代理、鈴木弘子花卉・果樹部会長、中村野菜・畜産部会長、関田植木部会長）

○ 日程第4

議案審議

議案第1号

都市農地の貸借の円滑化に関する法律に係る事業計画について

議長は、議案第1号1番から3番を議題とすることを告げ、事務局説明後、1番を鈴木弘子委員に現地調査報告を求めた。

鈴木弘子委員

議案第1号1番について、5月8日に小柳委員、本多委員、私と事務局で現地調査を行った。当該農地では、6月1日からの使用貸借開始に向けた準備が進められており、借主からはトウモロコシ等の野菜類を栽培する事業計画について聞き取りを行った。また、農地所有者については、当該農地の見回り等の業務に借主の農業従事日数の1割である年間30日以上従事する事業計画であることを確認している。よって、事業計画を認定するに当たり支障はないと判断できると考える。

議長

本議案について審議の結果、各委員の確認することに異議がないので、議案第1号1番について全員一致で承認とする。

議案第2号

相続税の納税猶予に関する適格者証明書の交付について

議長は、議案第2号1番を議題とすることを告げ、事務局説明後、1番を川窪委員に現地調査報告を求めた。

川窪委員

議案第2号1番について、5月8日に吉野委員、関田委員、私と事務局で現地調査を行った。当該農地では、スナップエンドウ・トウモロコシ・ジャガイモ等の野菜類が栽培されており、適切に肥培管理されていた。なお、当該農地には簡易倉庫が設置されていたため、当該農地外に移動するよう依頼し、5月17日に倉庫が撤去されていることを事務局が確認している。よって、本案件の人物は相続税納税猶予を適用するに適格だと考える。

議長

本議案について審議の結果、各委員の確認することに異議がないので、議案第2号1番について全員一致で承認とする。

議案第3号

相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書の交付について

議長は、議案第3号1番～5番を議題とすることを告げ、事務局説明後、1番を本多委員、2番を鈴木孝幸委員、3番・4番を関田委員、5番を吉野委員に現地調査報告を求めた。

本多委員

議案第3号1番について、5月8日に小柳委員、鈴木弘子委員、私と事務局で現地調査を行った。当該農地では、ハナミズキ・アセビ・モミジ等の植木類が栽培されており、全て適切に肥培管理され

ていた。

鈴木孝幸委員

議案第3号2番について、5月8日に中村委員、濱野委員、私と事務局で現地調査を行った。当該農地では、トマト・ナス・キュウリ等の野菜類が栽培されており、全て適切に肥培管理されていた。

関田委員

議案第3号3番について、5月8日に、吉野委員、川窪委員、私と事務局で現地調査を行った。並木町の農地では、ネギ・スナップエンドウ・ジャガイモ等の野菜類が、新町の農地は作付け準備中で、全て適切に肥培管理されていた。

議案第3号4番について、5月8日に、吉野委員、川窪委員、私と事務局で現地調査を行った。当該農地では、スナップエンドウ・ナス・ピーマン等の野菜類のほか、カキ・ミカン等の果樹類が栽培されており、全て適切に肥培管理されていた。

吉野委員

議案第3号5番について、5月8日に、川窪委員、関田委員、私と事務局で現地調査を行った。並木町二丁目の農地ではネギが、並木町三丁目の農地ではジャガイモが、北町の自宅北側の農地では、トマト・キュウリ・ナス等の野菜類が、東側の農地ではダイコン・エダマメが栽培されており、西側の農地は作付け準備中で、全て適切に肥培管理されていた。

議長

本議案について審議の結果、各委員の確認することに異議がないので、議案第3号1番～5番について全員一致で承認とする。

## ○ 日程第5 報告事項

**報告第1号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出に係る専決処理について**  
報告第1号について、事務局より資料を基に1件報告した。

**報告第2号 第64回企業的農業経営顕彰事業について**  
報告第2号について、事務局より資料を基に報告し、令和6年6月7日を推薦期日とし、委員へ推薦を依頼した。

**報告第3号 第44回農業後継者顕彰事業について**  
報告第3号について、事務局より資料を基に報告し、令和6年6月7日を推薦期日とし、委員へ推薦を依頼した。

**報告第4号 令和5年度の最適化活動の目標及び目標に対する点検・評価について**  
昨年、目標設定を行った最適化活動の点検と評価について、当市は全域市街化区域のため、遊休農地がなく、また、新たに発生もしていないことに加えて、活動記録カードから委員の活動日数を割り出して記載した。これについて、東京都へ提出する旨及び当該記載事項を公表する義務があるため、市ホームページに掲載することを報告した。

**報告第5号 今後の日程について**  
報告第5号について、事務局より資料を基に報告した。  
6月20日「国分寺ファーマーズ・マーケット運営協力会定期総会」、6月27日「夏果菜品評会」に鈴木会長が出席することを確認した。  
6月27日「令和6年度第2回栽培アドバイス会」に草ヶ谷委員、中村委員

が出席することを確認した。

6月27日に開催予定であった「農業委員会地区別広域連携会議」は、7月1日に立川市JA東京第1ビルでの開催に変更となったことを報告した。

## ○ 日程第6 その他

議長は、その他を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。

事務局 当会の活動指針を一部抜粋した資料を机上配布している。これは、今年度の農業委員会視察研修について、来月総会にて本格的な協議をいただく予定であるが、効率的な協議にするため、どのような先進事例を視察したいのか、委員から意見をいただきたい。

鈴木会長 視察研修先は、都内か。また、予定は半日程度か。

事務局 原則、都内を対象としており、例年、総会終了後に貸切バスで視察研修を行っている。

鈴木会長 農業については、他自治体も横並びかもしれないが、個人的な興味でも構わないので、意見を願いたい。

中村委員 市内には農業経営をしっかりと行い、後継者もおり、脈々と農業を続けている農家がある一方、高齢化や後継が厳しい現実に直面している農家もいる。その中で、「農地保全」を考えていくなれば「農地貸借」が重要となり、自らの負担軽減のため「市民農園を開設する」等の取組も必要と考える。「農地貸借」や「市民農園の開設」という農地を守る取組がうまくいっている事例があれば是非視察したい。

鈴木会長 現在、都内は国分寺市も含め、高齢化と後継者不足が問題となっている。農地の貸借については、東京都農業会議は把握しているかもしれない。

事務局 中村委員が提案した貸借について、「都市農地貸借円滑化法」による農業者間又は民間事業者に貸付ける市民農園もあれば、農業者自ら開設する市民農園もあり、東京都農業会議がまとめている一覧表があるので、来月総会で提示する。

中村委員 可能であれば、経営としてうまくいっているところが望ましい。

事務局 うまくいっている基準は様々あるが、まずは近隣市を調べてみる。参考までに、国立市では公設の市民農園はなく、農業者や民間事業者が市民農園を開設して市民に区画を提供している。斬新な形態に思えるが、従前から続いている。都市農地貸借円滑化法以前の例が大半かと想定するが、10箇所以上で開設している。農家にとってメリットがあるからこそ増加していると考えます。

鈴木会長 実際にうまくいっているかどうかは、調査や資料から読み取るより、直接行って経営者に聞かないと分からないため、視察研修として現地に行く意味があり、興味深い内容である。北多摩地区農業委員会連合会の会議が直近であるため、意見交換をしてみようかと思う。

笛田委員 以前、三鷹市のワインの話を濱野委員から聞いたことがある。

濱野委員 三鷹市では、地場産キウイを使用したワインを生産している。

笛田委員 三鷹市のワインの事例のように、地元の特産物を使い、付加価値

を付けて商品化し、販路を開拓して、持続している成功例があれば視察したい。

吉野委員  
濱野委員

加工品であると、当市もトマトドレッシング等の実績はある。

J A東京むさし管内において、国分寺市はブランド化されている品数は多い。トマトドレッシングは個人的に使用しており、国分寺市まで買いに来る。J A東京むさし管内で、国分寺市産の野菜や加工品もブランド力があり、他市より進んでいると考える。

鈴木会長

三鷹市の土壌がニュージーランドに似ているという宣伝で、「キウイのまち」とPRしており、そのPR力は素晴らしい。

濱野委員

キウイのほか、東八道路沿いにあるイチゴの摘み取り園が有名であり、春初旬から6月にかけて長期間収穫できる旬のスポットで、テレビ等で放映されていた。当市の中村農園のイチゴ等を紹介されていた。

笛田委員

私たちの知らない国分寺産のブランドがあるのかと思う。以前、直売所マップがあったが、現在はどうなっていて、そこで何を売っているのかが分からない。視察研修として、地元を知り、地元をアピールしていくという選択肢もあるのではないか。

鈴木会長

市内にも特産品が多数あり、視察研修に取材陣が同行し、市内産のブランドをPRできれば、多くのメリットが見込める。しかし、視察研修で他市に伺う貴重な機会であるため、できれば外に目を向けたい。

濱野委員

以前、足立区で、刺身のつまにする蓼を栽培して築地へ出荷する経営者があり、さほど大きくもない敷地で、年間収益2,000万円と高い収益を上げている話を聞いたことがあり、大変興味がある。収益率を上げるため、ハウスの形態について、普通のタイプではなく、鉄骨ハウスで行っているのかもしれない。足立区や周辺の農業者は、かなり小面積で農業経営を行っている。

鈴木会長

意見が複数出たが、引き続き委員には候補を検討いただき、事務局には資料作成のため詳細な情報収集をお願いしたい。

議 長

令和6年第6回農業委員会総会は、6月20日(木)午前9時30分  
国分寺市役所書庫棟会議室にて開催する。

上記の会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年5月20日  
国分寺市農業委員会  
会長 鈴木 秀男

署名委員

署名委員